

轉てん

教ぎょう

5

2022
May

信のとびら
一筋に願う

5月のご奉公のすすめ

5月のお寺の行事予定

3月のご奉公日誌

私のよろこび

寂光参拝も家族で準備できました

平均余命を越えた御利益

お寺の絆は万能です

難癖を災難徐滅で

ありがとう応援祈願

亡き主人がそっと。。。

よろこび＊のお講席風景

「あなたは生涯現役を目指していますか？」

「お助行」佐藤応昇

こどもたちの会

信行相続も懺悔から始まる



佛立本旨講妙應寺

大井大森教区 ジャック

一筋に願う

ご祈願を立ててますか？

毎月、家族の健康や仕事や
学業など、日常のお守りを頂
けるようご法様にお願いま
しょう。家族への信行相続の
祈願、これも忘れずに続けま
しょう。

心を込めた御祈願を

祈願用紙に記入する際は、
想いを込めて丁寧書き、人
や会社の名前には、フリガナ
をつけお導師が言上しやすい
ように配慮しましょう。

また、突発的な災難に遭つ

たときや長期療養の必要な病
気に直面した時など、「もう
だめだ」「祈願しても治らな
いのでは」などと、自分の思
い込みを判断基準にして、ご
法様に願う心を忘れてしま
がちです。

開導聖人のご教歌に、

へ祈願して 成ずる物と

捨おかは

権兵衛が種まき

鳥ほぜくる

と仰せです。

ご祈願が叶うか叶わないか

は、祈願にこもる思い、お題
目に縋^{すが}る心があるかないかに
かかっています。このご教歌
は、縋^{すが}り抜く心が弱ければ、
蒔^まいた種を鳥^{からす}が食べてしま
うような効果のないことになっ
てしまいますよ、と、ご注意
をくださったご教歌でござい
ます。

疑いや迷いを振り切る

以信得入の33ページに、

「ご利益をいただく人は皆素

直で正直なものだ。丹波の子
供は舌を切ったがお供水で治
す。出野町の三年もソコビ(目
の病気 緑内障など)を患つ
た山口きみは四日目に目が見
えるようになった。高木の子
供は腕がぬけたが、口唱とお
供水で治った」
と開導聖人時代の体験談が遺
されています。

祈願をたてた時に叶うか叶
わないかと心配する心が疑い
です。きっとこの体験談には、
疑いや迷いの心は無かったの
でしょう。

開導聖人のご指南に、
「謗法を払い清めざれば御利
生 蒙り難しと しかはあれ
ど願ひおきたれば必ず成ずる
ものと思ひ安んじて捨て置か
ば成ぜず 譬えば炉火に釜懸
け置きて 必ず湯のわくべし
とてうちねむるに炭絶て水と
成るが如し」

とお示しです。
祈願をかけたなら口唱に励
み、必ず成就すると信じ、強
い信念を持続させること事が
ご利益をいただく道です。心
の迷いを払い、根気よく諦め
ない精神で乗り越えてゆきま
しょう。



5月のご奉公のすすめ

今月のご奉公テーマ「助行」

班長さんの役目は、毎月の班内助行が何より大事なご奉公です。コロナ禍にあつて思い通りに助行が進みませんが、出来な

い家庭には電話でもけっこうですので親身になつて連絡を取り合い、信頼関係を深めましょう。

今月の「随喜轉教」

五月は日歡上人のご祥月です。日歡上人は日本第一の弘通家と称賛されました。「随喜轉教」はご弘通の種まきになります。

教区内の皆さんがご利益を頂くまでお継りして、喜びの輪を広げましょう。

来月の「ご奉公のポイント」

一、開導会

開導会は6月19日(日)に奉修されます。日扇聖人は御講という僧侶と信徒が一体となった法要儀式を開発して、日蓮・日隆両聖人の教え通りの信心、佛立講

を再興して下さいました。報恩の思いで全信徒が願主となつて奉修させて頂き、コロナ感染に気を付けてお参詣させて頂きましよう。

また今回もコロナ感染予防の

ため、左記の要領での分散形式で奉修させて頂きます。なお、奉修費・お花料・御供米料の奉納は6月5日(日)までに寺務所にお納めください。

【開導会分散参詣当番表】

6月11日(土) 渋谷港

12日(日) 都中里・千葉

13日(月) 西部(お総講)

14日(火) 目黒世田谷

15日(水) 品川

16日(木) かながわ

17日(金) 杉並

18日(土) 多摩

二、信徒講習会

今回も6月1日～7日の開講本旨再興祈願週間に併せて行います。

5月の寺内予定

日	程	行	事	時刻
1日～7日			開講本旨再興祈願朝参詣週間	
1日	日		開講本旨再興祈願総講	10時半
7日	土		運営会議	9時半
13日	金		高祖大士御命日総講	10時半
15日	日		日歎上人祥月御香料・塔婆申込締切	
17日	火		開導聖人御命日総講	10時半
25日	水		門祖聖人御命日総講	10時半
29日	日		日歎上人祥月御命日法要	10時半

コロナ禍対策として、連合幹事会、後継者育成連絡会、口唱会は中止いたします。

●事務局御講 3月26日

コロナ禍の中でお店を再開することができましたと、感謝の気持ちを書いた方がありました。補助金がおそいとかなんだとか、そんなことばかり世間では言われてますけれども、感謝の気持ちで過ごして、ギリギリながらお店を再開しましたと御利益を語っていたいただいた方の話を聞いた時に、ああ、これは信心の本質を一番よくつかんでいる方だな、ということをおそらくためて感じました。

あらゆる縁が変わってくるんだという、そういう人生観を持ちなさいというのが、この信心の一番の要です。

この目の前のことだけじゃなく、世の中がそういう気持ちになれれば、すべて自然環境まで変わる。そういう法華経による、信心観を持つてください。

◆辞令下付式 4月1日

ただいま、令和4年度の辞令を授与させていただきました。

今年はお助行がご奉公のテーマなので、他の方を応援する、支え合う、そういうことをご奉公のいろいろな場面で考えていただいて、良い成果を表すように1年間のご奉公に取り組んでいただきたいと思います。

塔婆建立・ご回向の功德を

3月の御導師のご法門より

◆お塔婆、御回向について

3月21日六角堂にて

日蓮聖人の中興^{なかおきにゆうじょう}入道という方にあてたお手紙の中に、宝塔（仏様が亡くなった後、お骨を納める）を木で形にしたのがこの塔婆なんです。

この宝塔の一番上に南無妙法蓮華經としたためることによって、これが宝塔になるわけです。そこに戒名を書いてお題目を唱えることよって法華經を称え



た功德を亡くなった方に送ることができます。そういう功德があるので、塔婆を立てるといのは、もう単なる形式ではありません。

中興入道という方が自分の子供さんを亡くしているんですね。十三回忌のときに、日蓮聖人のいらっしやる身延山にやってくる、お塔婆を立てて供養した。そのことを手紙で後に述べられた時に、あなたの方は大したものだ、あのお塔婆の風下で風を受けるだけでも幸いです。まして喜んで建立した功德というのは計り知れないものである、というふうにお書きに

なっています。

春秋の彼岸の時に、先祖代々のご回向のために塔婆を建立するというのは、先祖に感謝するという重大な意味がありますので、是非思いを込めてご回向してください。



◆春季彼岸総回向

本堂でのご訓示

日蓮聖人の仰せになったことを一言でまとめれば、「命を授かったことに感謝して、この一生を最大限、喜びの種が蒔けるような生き方をしなさい、とり

令和4年3月行事報告

日 程	行 事	時刻
1日～7日	開講本旨再興祈願朝参詣週間	
1日 火	開講本旨再興祈願総講	10時半
5日 土	運営会議	9時半
6日 日	れんげまつり（高祖大士御命日総講に併修）	10時半
7日 月	春季彼岸御塔婆・御回向締切	
17日 水	開導聖人御命日総講	10時半
18日 金	春季彼岸朝参詣週間（18日～24日）	
21日 月	春季彼岸総回向法要	7時
	同上（六角堂）	10時半
25日 木	門祖聖人御命日総講	10時半
26日 土	事務局御講	7時

わけその方法は人の幸せを祈ることなんだ」というふうに教えていただいているわけです。

私も、この人の幸を祈るという菩薩精神と塔婆建立・御回向の功德というものは一体のもので、お彼岸等の行事は、できるだけ形式化させないように、家族中での塔婆建立・お題目口唱・人の幸せを祈るといふそういう思いで、毎年のお彼岸御回向等に家族こそつて参詣してください。

◆れんげまつり3月6日

今日は改めて日蓮聖人のお姿を感得した信者さんの御利益体験談を映像にさせていただきました。これは現に日蓮聖人が生きてるといふわけじゃなくて、日蓮聖人が題目

によってわれわれを救ってくださろうとするお慈悲が今も生きているということです。

ですから、通常の状態でお祖師様の姿を感じるといふことは、そうあるもんじゃありませんけれども、お題目によって我々を救ってくださろうとするお慈悲を感得したいという気持ちを磨くという、そういう心で御宝前の給仕をはじめ御看経等の思いを込めてさせてもらいましょう。その積み重ねによって、いざと



いう時に
もご利益
を感得で
きます。

寂光参拝も家族で準備できました

福岡教区 Mさん

去る2月26日夫、Tが帰寂致しまして、本日(3月6日)は二、七日忌ご回向を有難うございます。昨年の大病では沢山の応援祈願、退院時には御丁寧にお礼まで上げて頂きました。

甲お講の席主を勤めた二日後の2月22日、脳幹出血で倒れ本堂で再び応援祈願を頂きました。そして亡くなった今、また沢山の方々には御丁寧にご回向まで頂いており、何と幸せな事だろうと毎朝、ライブ参詣をさせて頂きながら、娘と二人で深く随喜致しております。

我が家は結婚10年目に娘を授

かりました。その感謝の思いで、毎年欠かさず家族揃って、九州から東京まで御会式参詣を20年間続けてまいりました。お講参詣も20年間、毎月家族で欠かす事なく続き、ご奉公の中に子供の成長を共によろこび、御宝前を中心に本当に楽しい時間が重ねられました。

昨年の12月25日が主人の61歳の誕生日でした。その日にお寺から主人の一級授与と授与式参加のお知らせを頂きました。伝えると照れた様な弾ける笑顔でした。1月9日の授与式には、家族として最大級の喜びで送り

出してあげたいと早速、主人のスーツを家族3人で買いに行きました。その帰り道、お祝い会も開いて主人の好物を並べました。この時に買ったスーツで主人を見送りました。

世間では、脳幹出血は突然死と言われますが、実は何処か予感があつて、命の蝋燭が最期燃え尽きていくという儚さを私も娘も感じていたので、一日を心を込めて感謝とご弘通の思いでお看経を重ねていました。車で駅まで送迎したのが夫婦の最期の別れでした。主人の今生最期の言葉は「ありがとう」で、私は「行つてらっしゃい、またねー」でした。今思うと日々「ありがとう」と言つて生活してき

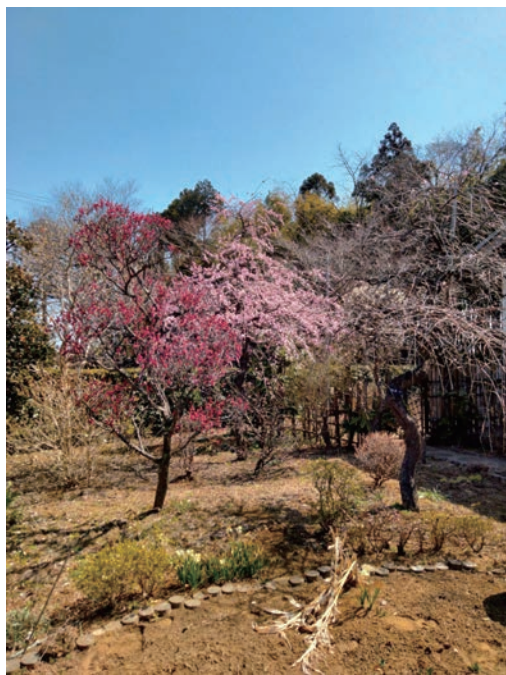
特別教区のよろこび

て本当によかった。なので、悔いはありません。

特に命日となる一ヶ月前にも大きな分かれ道がありました。主人の実家である岡山教区での甲お講・ご尊父の第13回忌法要を、福岡教区で代わり奉修し、主人が席主を勤める事が突然決まりました。事務局役中さんが必死で支えて下さる中に九州からのライブ配信ご奉公に頑張りました。主人は亡くなる一週間に、お導師には席主として直接お目にかかる事ができました。コロナ禍で集まれなくても、岡山のお母様、兄夫婦、親族一同、東京からも一〇三名という凄まじい数のライブ参詣を頂き、盛大な甲お講・ご回向ができました。

葬儀では遠方から駆けつけてくれた親族ご一同から「隆智さん本人が自分の言葉で御礼を皆に伝えそして旅立った。素晴らしかった。まだ2月なのに通夜↓告別式と2日間も雲ひとつない晴天で20℃もある！61歳と

若いけど、こんなに見事な旅立ちはない！」と口々に隆智さんのこれまでのご奉公を笑顔で称賛して下さいました。最期に見せてくれた雲ひとつ無い空の色を忘れる事なく、主人の追善供養に励みたいと思います。



あなたは生涯現役を目指していますか？



◆御導師より◆

我々は、死ぬと天国？というイメージを持つ方が多いのですが、日蓮聖人が描いた寂光観は、ご利益のよろこびを糧にして生涯を送る、この現実世界がそのまま寂光なのだというものです。

一生涯現役とは、並々ならない思いです。本堂が寂光であり、寂光は本堂です。本堂に行きたいと思えば、その場所が寂光なのです。（杉並教区でのご法門より）

◇お題目の船に乗って◇

千葉中央教区

Kさん

満願達成した多くの信者さん

は、お題目の船に乗せられ寂光の世界へと旅立って行かれた方がたくさんおります。その方々のお

姿やご尊顔を拝見しますとご法様をはじめ日尚上人のお守りを頂き、感謝と安心のお姿だとお見受けしました。私も微力ではありますが、お題目の経力のありがたさを大切にし、これからも、妙應寺の発展を願い、お寺参詣と、お講参詣に精進する所存です。他人の幸せを祈る信者として、常に感謝の心を持ちながら、生涯現役のご奉公に精を出し、信心の喜びを他人にも伝えたいと決意を新たにしました。

◇規則正しい生活をベースに◇

富里教区

Sさん

現在、月16日仕事をしておりませんが、元気に働けている事に感謝しております。最近は生涯現役を意識する様になりました。ご信心第一に考えながら、規則正しい生活を心掛けております。朝夕はお給仕、お看経を第一にして、免疫力アップの朝食をとります。寝たきりにならないための体操5パターン、それぞれ20回します。昼7時45分ライブ参詣をします。昼休みは外で日光浴をしながら過ごします。

休みの日は六角堂へのお参詣も

心掛けております。月2回スポーツ、ハンドベル、俳句、はり絵、ウォーキングなど地域社会との活動を通じて、ふれあいながら生涯現役を目指しております。

◇更に二つの生涯目標を持つ◇

杉並教区

Tさん

私は今年で90歳になりますが、御信心のお陰で元気に過ごさせて頂いています。去年の暮れに転び、足を痛めて歩けなくなっていました。また、教区の方々の応援祈願やお世話を頂き、無事お寺参詣出来る迄に回復致しました。誠に有り難く感謝しております。私には弟が一人おりますが、今後は弟の正法掃入と、八王子にあるお墓を六角堂に移す事。この二つの事を生涯の目標にして、御法様にお縋

りして、また教区の皆様に応援祈願をして頂きながら、御奉公を進めていきたいと思っております。

◇悔いの残らない一生を目指し◇

大井大森教区

Wさん

私の祖母は、95歳で帰寂しましたが、生前は足腰がだんだん弱くなった為、朝夕の御看経の時は籐イスをずらして座り、お題目を口唱、又、亡くなる一カ月前の夏期参詣まで父の車に乗せて貰って、喜んでお寺参詣していました。

私も先の事は想像できませんが、今は母の身体健全、現役ご奉公成就を願い、又、子供たちの信行相続成就を目標に祖父母や両親を見習って、悔いの残らない一生を目ざし生涯現役でご奉公に頑張りたいと思います。

◇これこそ元氣と若さの秘密◇

多摩教区

Aさん

信者の方々を見てみると、年齢不詳、お年を聞いてビックリするほど若々しい方がたくさんいらっしゃいます。いつも前向きに、笑顔でご奉公なさっている姿を見て、元氣と若さの秘密は喜んでお参詣、ご奉公をさせていただくと、と常々感じています。私自身もできる範囲で精一杯お参詣、ご奉公をさせていただくことで、健康のお計らいをいただいていると感じています。毎日のお看経を怠らず、コツコツとご奉公させていただくことで、生涯現役、元氣に過ごし、そしてその姿が子供たちの信行相続につながるように頑張りたいと思います。

平均余命を越えた御利益

渋谷港教区 Eさん

健全の御願い言上しているおかげだとおもいます。

これが、私の御利益談です。

今日は御利益談のお話と言いますが、私は此処に居られる方は御存知だと思えますが10年来の透析をしています。

りますが、今のところ血液検査等の数値に変化も無く過ごしております。

また、今日の席主ご奉公にあたり、役中さん方から沢山の応援を頂きました。

1週間は月・水・金は透析に、火・木・土は体を休ませております。

これも、朝夕御宝前に、身体

何よりのご利益です。

お寺の絆は万能です

世田谷教区 Kさん

それでありますので、1週間は割合と規則正しい生活をしています。

1月の雪が降った日の翌日、路面が凍っていて気をつけて歩いていたので、左の足が

言って家に帰ってから電話をしましたら、銀行員の方が電話に

と言っわけで、取りとめの無い生活をしておりますが、これが一番の御利益の様におもいます。

氷の上に乗った途端に滑って背中を強打してしまいました。しかし、お計らいですぐ立ち上がる事が出来て、用事を済ませて

が、叫ぶ声が聞こえたので救急車を呼びました、との事です。その後はNさんが付き添って病院に行つてくださり、入院する事が

9〜10年と言われていまでも、私の透析はそれを少し過ぎてお

帰る途中でTさんから、体調が悪いとこの電話が入りました。そこですぐ救急車を呼びなさいと

出来て助かりました、本当にありがとうございました。そして、



私のよろこび

おかげ様で今日が転院日となりました。本人は至って元氣です。

今後3ヶ月ほどは、リハビリという流れになります。

ちょっと余談なのですが、入院手続き上での病院と私のやりとりです。

病院から「一体どのような関係で？」と尋ねられたので「お寺のご信者仲間です」と答えました。「すごいですね、そんなお寺があるのですか？」と続けて尋ねられたので、いい事聞いてくれた一と思つて「はい！巣鴨にお寺があります。YouTubeでも発信しています」とお話しできる機会を頂きました。

難癖を災難徐滅で

多摩教区 Yさん

昨年の九月頃、息子の帰宅を待つていると、二十三時過ぎにようやく帰つて来ました。話を聞くと前方に、少しセンターライン寄りに中型バイクが止まっていたいました。信号が青になり、バイクを避ける形で発進し追いついて、次の信号で止まっているとバイクの人が「なぜあおつたんだ」と言ってきたのです。息子があおつた覚えはないと説明していると、警察官がおりとは認められないと伝えると、今度は民事に訴えると言われま

した。名前や住所も言わなかった。お寺で災難除滅のご祈願とご回向をさせて頂きました。その後、会社の方に相手の人から連絡があつたようですが、ご祈願をさせていただいていると連絡もなくなりました。息子も仕事で遅くなり焦っていたのかもしれないと、反省しております。人身事故になつていたかと思つと、ご祈願の大切さを改めてかみしめ、今後も家族共々ご奉公させて頂きたいと思つております。

立ち去る時に警察官に、自分は同業者だと言つていたように

ありがとう応援祈願

品川教区 Wさん

私は、結婚と同時に御本尊をお祀りさせて頂きました。その頃はほとんど母任せで、実家でお講席があると手伝いに行ったりお会式参詣をする程度でした。

主人も特に反対する事も無く実家にある御本尊と同じように、一家を守ってくださると受け止めていました。

その主人が二年前に人間ドックで肝臓がんが見つかり、大きな手術を二回もしましたが、御陰さまで今はとても元気になりました。まだまだ油断はできませんが、三カ月ごとの検査でも特に問題も無く、週末には大好

きなサッカークラブにも行けるようになりました。御法様はもちろん皆様の応援祈願と言う大きな支えのお陰だとおもっています。

又、わたくし事ですが、いま働いている学童保育所で先日、子どもさん一人にコロナ陽性がありました。初めての事に対応した責任者は大変だったので、スタッフがその日以来子どもたちの検査結果は全員陰性で、四日間閉所した程度で済みました。その日は冬休み中で子どもも多く、朝から夜まで開所していましたので、スタッフのほとんど出勤していました。

所がなぜか私一人だけその日はお休みを取っていました。今年の初お講の日だったので、ですから何の影響も無く検査の対象にもなることもなく、週末にはお寺参詣もできました。そのときは本当に御法様にお守りを頂いたのだと有難く思います。これからも日々、色々ありますが、感謝の気持ちを忘れずに御奉公させて頂きたいと思えます。



私のよろこび

ときどき主人がぞつと。。。。

富里教区 Kさん

主人が亡くなってから半年、朝夕お看経をあげていたので、遅番で帰宅が夜9時頃になつたり、朝、母親に弁当を届けたりなど、時間に追われ平日はしようがないかなと疲れを言い訳に、ご挨拶だけの最近でした。

1月も終わりという寒い朝のこと、ご宝前の部屋の雨戸がピクともせずあかないのです。ロックがかかってしまったようで、まったく動かないのです。器用でまめな主人でしたので、私は家の電球一つ変えるのもやったことはありません。山のようにある沢山の工具も使い方

がわからず眠っています。スマホで検索すると修理に三万円位かかるとのこと。娘の彼氏が来ていたので見てもらいましたがこれは業者を頼むしかないと。

そのうち二人は出かけてしまい、日中雨戸が閉まつた薄暗い中、使い慣れないドライパーで隙間から押ししてみたりしましたがダメでした。夕方になり、やっぱり業者に連絡するしかないのかな、痛い出費だな、これからは何でもお金をかけて直すしかないのかなと、気持ちも沈んでしまいました。

でも、そうだ！こんな時こそお看経だ！今日は日曜日じゃな

いか！お線香1本夕看経をあげ雨戸のロックに手をかけました。お題目を唱えながら動かないロックをガチャガチャすると、今までどうやっても動かなかったロックが何事もなかったように動いたのです。

なんだか亡き主人も沈んでいる私の姿を見かねて、ご法様にお願いしてくれたのかなと涙が止まりませんでした。すぐさまお礼のお看経を上げさせて頂いたのは言うまでもありません。

今、私は自分の将来設計を色々な角度から見据えて考えていかなくはなりません。お金を貯金することも大切ですが、自分の人生の為にお題目の貯金が最も大切であるということをお教えていただきました。

令和4年度辞令下付式

4月1日開講本旨再興祈願総講に併せて令和4年度の各役中さんへの辞令が御導師より授与されました。



教区役員、事務局員109名、および寺内役員として、責任役員6名（写真中央）、評議員11名（写真左）、監事2名（写真右）に今年度のご奉公をいただきます。



昨年父を亡くしました。今年一周忌に当たり、無事法要させて頂く事が出来ました。感謝の思いを少しでも本堂御宝前に届けたいと考えていましたら、『献花を奉納』をさせて頂くことに気が付かせて頂きました。

させて頂き本当に良かったです。これからも機会を得てはさせて頂きたいと思えます。

（豊島教区Aさん）

スマホ便利アプリ 紹介コーナー

ラインの便利な小技⑩

「送られてきた写真を一括で見る」

お孫さんがいる家族の方などには多くの写真がラインで送られてくると思います。写真を送ってくれた友達のトーク画面で過去にさかのぼって多くの写真を探すのは大変ですね。

実はとても簡単なのですが意外とご存じない方が多いです。やり方は、

友だちのトーク画面最上部にあるの三本線をタップしてください。

そうすると、写真と動画だけの一覧表が現れ、全てを纏めてみる事が出来ます。



今年度のテーマ 「お助行」

「お助行」とは他の人の為を思つて

させていただくご奉公です

佐藤応昇師

昨年水戸教区をご奉公させて頂いたときの体験談です。コロナ禍の為、なかなか教区の中で交流も出来ませんでした。

お寺では朝参詣や甲の御講のライン参詣が始まりましたが、水戸教区では一部の人しか参加出来ない状態でした。

LINE参詣ができるように

鮫島清さんにお願いをしてスマートフォンの設定の為のお助行をさせて頂きました。

北見さんのお宅に伺うと、お助行の後、熱心に御夫婦でやり方をおぼえていました。北見さんがライン参詣をされるようになります、今までスマートフォンを持っていなかったGさんが新たにスマートフォンを買つてライン参詣を始める決定けつじょうをされました。またSさんにお願いをしてお助行に伺いました。初めてのスマートフォンに悪戦苦闘しながらも頑張つて操作を覚えてくれました。

中々お互いに直接会うことが

難しい状況ですが、スマートフォンを活用しながら交流をしています。

先日もお講師を交えて本堂と水戸教区での交流助行をさせて頂いたことが出来ました。色々困難な状況はありますが、工夫をしながら状況に合わせてご奉公させて頂きましよう。

お助行とは他の人の為を思つてさせて頂きたくご奉公です。直接会えなくとも、他の人の幸せを願つてさせて頂きたくご奉公がお助行になるのです。分に応じて出来る事を少しずつでもいいですからさせて頂きましよう。それが人助けのご奉公ともなり自分自身の功德ともなるのです。





★こどもたちの会★

「信行相続も懺悔から始まる」

<p>⑥ 経を始めた。と云うとお看しかしー</p> <p>南〇～経 南〇～経</p> <p>一大決心でした。</p>	<p>① いつても一生懸命に信心にすがってご奉公するご信者さんがいました。</p>
<p>⑦ もしここでご利益を頂けなかったらと思つと無我夢中でお唱えしました</p> <p>南〇～経!!</p>	<p>② 一緒に住んでいる息子夫婦はご心に反対でいつも文句ばかり。</p> <p>仕事がいいしお講も手伝えないからね!!</p>
<p>⑧ すると不思議な事に、赤ちゃんの頭が出て来て無事に産まれたのです。</p>	<p>③ ある日お婆さんの陣痛が激しくなりましたが、赤ちゃんがなかなか産まれません。</p> <p>19999...</p>
<p>⑨ お医者さんもお産婆さんもびっくり!</p> <p>そこいら全員の前で、現証を見せたのです。</p>	<p>④ お医者さん二人にお産婆さんも来ましたが、なかなか産まれません、赤ちゃんを講めろしかりません。</p>
<p>⑩ このご信者さんはこれをきっかけに信行相続できた。</p> <p>信行相続も自分の過去の種まきをおさんげする事が大事だよ。</p>	<p>⑤ しかしその時</p> <p>えっ?!</p> <p>一時間お下さい!!</p>

※ご教歌...先の世にそりしむくひこのたびはそれを縁しに 唱う妙法

コロナ感染症がまる二年間続いており、御会式も令和2年2月23日を最後に従来通りの奉修が出来ておりません。今日は、係の皆様のご尽力で無事春季彼岸総回向を奉修させて頂く事ができました。ありがとうございます。

本日は皆様にお願ひがあります。この六角堂に納骨されている仏様の祥月御命日には、六角堂にもご回向、御塔婆を是非とも御上げさせて頂きましよう。

本駒込本堂には御上げされている方は多くいられます。申し込みは先づけで、本駒込本堂寺務所で受け付けておりますので、よろしくお願ひします。

本日はお参詣誠にありがとうございます。



事務局 局長 山本久男（六角堂にて）

轉教

令和4年5月1日発行 第24巻第5号 通算267号
編集兼発行人 山本久男
発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-6-11
TEL 03-5319-3490 FAX 03-5319-3491



<http://myooji.com>



info@myooji.com

題 字：水谷日尚上人